

解答

㊦

- 問一 ① 唐突 ② 博士 ③ 波紋
問二 ① したた ② ちょうけい ③ のうたん
問三 1・オ 4・ウ 5・イ 8・エ

㊧

- 問一 イ
問二 ア
問三 ウ
問四 老木が枯れていくように、真っ暗な中でじわじわと死んでいく恐怖を感じた。
問五 ウ
問六 なんのために生きているのかと、さみしさを感じている。
問七 天井にクモ く くなかった
問八 イ
問九 エ
問十 ウ
問十一 ア

㊨

- 問一 イ
問二 心に余裕をもつかどうかというちがい
問三 「貧しくて
問四 エ
問五 ア
問六 ウ
問七 ツイアビさんの住む島には、時間を気にする人はいないから。
問八 ア
問九 想像力
問十 エ
問十一 イ、オ

解説

㊦

問六 入院中の母、酒飲みの父という両親を見ていて「両親のために、早く大人になるつもり」である「おれ」。「純粹階段」でいつも一人で弁当を食べている「おれ」。「この階段は一体全体なんのために残されたのだろう」「置き去りにされたさみしい階段」という描写などから、「おれ」のさみしさ、孤独を読み取ることができます。

㊧

問七 ツイアビさんの住む島では「誰ひとり時間に不満をもったり、時間を追いかけまわしたり、時間を虐待したりするものはいない」とあり、パラギが時間を気にしていることを不思議に思っているということがわかります。